

中小企業タイムズ

今月の見どころ

- 富士山世界遺産登録取材記事…………… 1面
- 県内の景況状況/業界の声 …………… 3面
- 暑中見舞い(内藤会長)…………… 4面
- 組合の活動紹介…………… 5面

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

8月号

2013年
第681/256号
(毎月1日発行)

7月の出来事

●時事

- 6日 関東甲信 早い梅雨明け
- 12日 山梨・甲州市で4日連続39度超
- 21日 参議院選挙

●山梨県中央会ニュース

- 8日 中央会女性部会通常総会
- 17日 中小企業労務改善団体連合会通常総会
- 25日 正副会長会議
- 26日 中小企業組合等事務連絡協議会通常総会

8月の予定

- 9日 やまなし合同就職説明会

発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp



河口湖畔からの雄大な『富士山』

富士山と組合

去る6月26日、カンボジアの首都プノンペンで開かれた国連教育・科学・文化機関(ユネスコ)の世界遺産委員会で、日本が推薦した「富士山」が正式に世界遺産リストに登録され、県内は

喜びに沸き立った。富士山は、日本では文化的・宗教的にも価値が非常に高い山とされ、日本の宝から世界の至宝の仲間入りを果たした。また、富士山の世界文化遺産登録が

祝！世界文化遺産登録

国内最高峰の富士山が世界へ！！

決定したことを踏まえ、県内では、富士山に関連したビジネスが盛り上がりつつある。国内外からの観光客が大幅に増え、ホテル・旅館・土産品などの観光業や交通機関に直接的な経済効果が期待されている。

更に、県の認知度が上がり、国際的なイベントの開催、地域のブランド力が高まることが予想されるため、本県の中小企業の技術を活用した新たな商品開発などの企画や、県内各業界で様々な動きが検討されている。

河口湖周辺の旅館業では、今後多くの観光客が見込まれることを受けて、新たな見学ルートの提案、周辺道路(歩道)の整備や駐車場の設置、道路照明やトイレの増設などインフラ整備などが急務となっている。

甲府市に隣接する石和温泉では、各団体と協力して国内を始め海外に富士山をPRしていく他、個別の旅館などでも富士山世界遺産登録を記念したプランもそれぞれ企画している。

富士五湖の一つ本栖湖に隣接する下部温泉郷では、現在、本栖湖から温泉郷に繋がる国道300号線の道路整備が計画されており、完成時には時間や距離の短縮が見込まれるなど、富士山周辺の観光客の誘客が期待される。更に、世界遺産登録を機に、下部温泉の源泉を使った製品の販路の拡大や、新製品

開発も予定されている。

全国有数の織物産地富士吉田市では、富士山五合目、富士五湖、忍野八海等々の観光拠点に点在する売店等で富士山関連の産地織物製品の売上増大が期待されている。また、業界独自の取り組みとして、富士山世界文化遺産を記念した「タグ」を作成する他、各組合員に富士山をメインとしたグッズの提案をしていくように呼びかけている。

バス業界では、世界遺産登録されたことで富士登山など富士山を訪れる人の増加が見込まれており、旅行業者とタイアップして「世界遺産めぐりルート」など富士山を加えた企画などが検討されている。

なお、今後も富士山「世界遺産効果」により、各業界で様々な取り組みが見られるであろう、しかしながら、これが一時的なものだけでなく《地元が誇れる富士山》《日本が誇れる遺産》として、みんなで力を合わせて守っていくことが何より大切ではないだろうか。



中小企業白書2013年版の概要

第1部では、最近の中小企業の動向について分析し、第2部では、自己変革を遂げて躍動する中小企業・小規模事業者の取組や課題について分析を行った。

現在、小規模事業者に焦点を当てた中小企業政策の再構築を進めている。このため、今回の白書においては、主要項目において、小規模事業者とそれ以外の中小企業に区分して、それぞれの現状や直面する課題を明らかにした。あわせて、特に小規模事業者の課題に対応した施策の在り方を究明した。

※2013年版中小企業白書の全文（PDF分割ファイル集）については、中小企業庁HP（www.chusho.meti.go.jp/）をご覧ください。

第1部 2012年度の中小企業の動向

- ・我が国経済は、円高、世界景気の減速等の影響により弱い動きとなったものの、足下では持ち直しの動きが見られる。
- ・中小企業の景況は、持ち直しの動きが見られる。中小企業等の再生・経営支援を徹底的に促進するとともに、被災地の産業振興のための取組を加速する必要がある。

第2部 自己変革を遂げて躍動する中小企業・小規模事業者

地域や社会を支える中小企業・小規模事業者は、変化する事業環境に合わせ、経営を変革させている。起業・創業、新事業展開、事業承継、情報技術の活用等に焦点を当て、その活動を明らかにする。

● 起業・創業

起業・創業は、産業の新陳代謝を活性化させ、経営資源の有効活用を図り、雇用を創出する上で不可欠。しかし、開廃業率は米英に比べて低迷しているのが実情。

起業家の中には、成長・拡大志向の起業家のみならず、安定的な事業継続を志向する起業家が多数存在している。

また、売上発生前の起業当初は各種手続や資金調達、売上発生後には人材確保が課題となるなど、発展・成長の各段階で異なる課題に直面。

起業の形態や発展・成長の各段階で変化する課題等を示すことで、求められる起業支援の内容を明らかにする。

● 新事業展開

新事業展開は、取り組んだ企業の多くが今後の売上増を見込むなど、事業の再生や成長の観点からも重要となっている。

中小企業・小規模事業者が、資金・人材等の課題を乗り越え、成長分野で新事業展開する姿を示す。

● 次世代への引継ぎ（事業承継）

小規模事業者等の高齢化や後継者難は廃業に直結する問題であり、事業承継による経営者の世代交代が必要。

親族以外の承継が増加する中で、親族の承継、親族以外の承継の課題や、後継者養成等の対応策を示す。

● 情報技術の活用

中小企業・小規模事業者は、情報技術の導入・活用において、コスト負担、人材不足の課題に直面。

情報技術の導入・活用で効果を得るために経営者のリーダーシップ等が必要であること、多品種少量の生産管理、全国的な市場開拓、企業間連携による効率化等を情報技術の活用で実現し、経営課題を解決した企業の取組を示す。

過去50年の中小企業白書を振り返って

今回の白書は、1964年に第1回白書が発表されてからちょうど50回目。過去の白書の記述に基づいて、中小企業について、取り巻く環境、直面する課題、期待される役割等の過去50年にわたる変遷を明らかにする。

中小企業白書に関するご意見・ご要望がございましたら、以下の連絡先までお寄せ下さい。お寄せ頂いたご意見・ご要望は、今後の参考にさせていただきます。

連絡先 中小企業庁 調査室

E-Mail: ikenbako@meti.go.jp

電話:03-3501-1764 FAX:03-3501-1207

漢字力の向上

ibuki

息吹

普段、パソコンで文章を作成していると、たまに手書きでメモをとる場合などに漢字が書けなくなったような経験があるという人は多いはずだ。

漢字を忘れてしまい、ひらがなやカタカナで書いてしまうこともある。

パソコンでの文字入力が増え、漢字を書く機会が減ったことにより、漢字に弱くなったと感じているようだ。

文化庁が、毎年実施している「国語に関する世論調査」によると、平成23年度調査（平成24年2～3月）では、「多様化する情報交換手段の日常生活への影響について」調査をしており、「漢字を正確に書く力が衰えた」と感じる人が66・5%あり、平成13年度に行った前回の調査より25ポイント増えていた。

パソコンや携帯電話等が普及し、文字を手書きする機会が減ったことが影響しているのではないかとしている。

確かに、パソコンを始めてから漢字が書けなくなったと感じているユーザーは多いようだ。

そのような理由かはわからないが、スマートフォンやタブレットの普及で、文字を手書き入力したいというニーズが少なからずあるようだ。

しかしながら、手書きしたくても、漢字を知らないとい何の意味もない。

この他にも読み方を間違えてしまう漢字、読み方がわからない漢字、書けない漢字は数多くある。

このままでは、漢字力がみるみる衰えてしまふのではないかと不安である。

人前で恥をかかないためにも、今からでも漢字力の向上を図りたいものである。

データから見た

業界の動き

平成25年
6月分



●山梨県中小企業団体中央会情報連絡員報告

本県6月の景況は、全業種のDI値が、売上高±0(前年同月比+12)、収益状況-20(前年同月比+4)、景況感-16(前年同月比+10)となっており、前年同月比では全ての項目で改善した。業種別のDI値では製造業で、売上高-10(前年同月比-5)、収益状況は-10(前年同月比+10)、景況感-10(前年同月比+5)。非製造業で、売上高+7(前年同月比+24)、収益状況-27(前年同月比±0)、景況感-20(前年同月比+13)となった。

前月比では、製造業の売上高は10ポイント、景況感が5ポイントと改善したが、収益状況は10ポイント悪化した。非製造業では、売上高が17ポイントと改善したが、収益状況が10ポイント、景況感は7ポイントとDI値が悪化した。

情報連絡員による県内の6月の業況報告は、円安による原材料の値上げが進む中、販売価格への転嫁ができない中小企業の収益環境の悪化を懸念する報告が多く見られた。

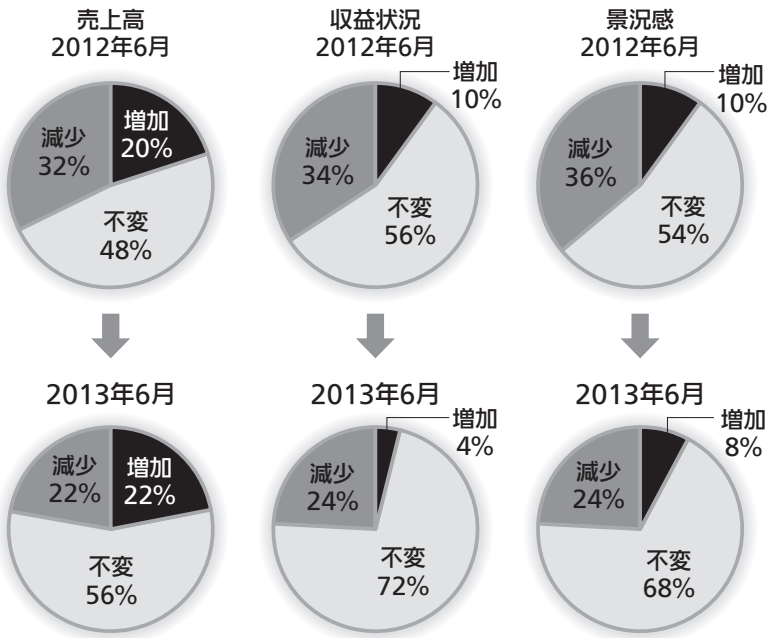
しかし、消費者マインドが改善傾向にあり、個人消費が緩やかに広がりを見せている報告もあった。

製造業では、「発注単価が安くなり対応できない。」「売上が減少している。」といった厳しい報告がある一方で、「来春の消費税増税を見据えた駆け込み需要が出始めている」との報告もあった。

非製造業では、景気対策による公共事業の執行が本格化するなかで、建設管理技術者や若年労働者の不足を懸念する報告があった。また、百貨店を中心に高額な宝飾品が動き始めたとの報告や富士山世界文化遺産登録を受け旅行プランを企画する旅行代理店等からの宿泊状況の問い合わせが多い等の報告もあった。

秋以降の景気回復にますます期待が高まる。

データから見た業界の動き(平成25年6月分)



ともにエアコンは順調に推移。太陽光関連は、売上増。LEDシーリングライトは価格ダウンにより台数的には、伸長しているが販売額は伸び悩んでいる。

●小売(食肉)／円安による飼料高の影響で、枝肉・部分肉や輸入肉等の値上がりにより利益の確保難。固定客の来店頻度や客単価は減少傾向にあるが、新規の若年層家庭の頻度は増加傾向。安心・安全を求める子育て世代へ訴求効果があらわれてきた。

●小売(水産物)／円安の影響で輸入魚介類が値上がりし、6月はハム、ソーセージ等の肉加工品が飼料となる穀物の値上がりを背景に約8%程度値上げされた。しかし、売上不振への影響を恐れ価格転嫁できない。

●建設業(総合)／管理技術者や若年労働力の不足が課題。

●建設業(鉄構)／低価格での受注競争のため受注まではに至らず、稼働率は80%程度。

●設備工事(管設備)／5月の新設住宅着工戸数は、県内13市で404戸(前年同月比97戸増)、甲府市については、107戸(前年同月比20戸増)。景気回復へ期待。

●運輸(バス)／燃料高騰により利益率は落ちている。そのため、短距離の仕事を選ぶ傾向が見受けられる。

●運輸(トラック)／山梨の特産品の桃やブドウが、開花期や結実期の天候不順で近年例を見ない不作のため出荷量が減少し、配送量も減少しているため収益への影響を懸念。燃料の高止まりが経営を圧迫し続けているが打っ手がないう状況。

業界から一言

製造業

●食料品(水産物加工)／伊勢エビや鮑等の生鮮の取扱いが前月に引き続き好調。原材料が高騰。

●食料品(洋菓子製造)／自社製品、OEM、輸出等、全ての項目が好調。小麦粉の値上がりに続き、乳製品も値上げが見込まれるため採算面は厳しい。

●食料品(菓子)／円安の影響による原材料のコスト増。

●木材・木製品製造／消費税

トピックス

情報連絡員には、景気動向の変化、現状とその背景などについて、業界または組合員全体の動向・予測(売上高・原材料等経費・資金繰りなど)についてコメントを求めた。

増税を見据えてプレカット加工の仕事量が上昇傾向。特に、木材持込のプレカットが増加。しかし、原木の木材販売は苦戦。

●一般機器(1)／親会社からの発注が若干出始めたが、低単価のため対応できない製品もある。

●一般機器(2)／年々、売上が悪化している。

●電気機器／全体的にはリーマンショック後と同じくらいに景況感悪い。

●その他(宝飾①)／多少、高額商品が現金取引で動くようになってきているが業界の業況は依然悪い。

非製造業

●卸売(宝飾)／昨年と比較すると若干売上が増加。百貨店を中心に高額な宝飾品が動き始めたとの報告や富士山世界文化遺産登録を受け旅行プランを企画する旅行代理店等からの宿泊状況の問い合わせが多い等の報告もあった。

業界の声

●一般社団法人山梨県一般廃棄物協会

会長 篠原 充氏

一般廃棄物協会とはどのような組織ですか？

廃棄物とは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で「産業廃棄物」と「一般廃棄物」に分類されており、本協会は、一般廃棄物等の収集運搬を行う事業者を会員とした組織です。現在では、協業組合及び協同組合等を対象とした団体会員と個別企業を対象とした個人会員を含めて87社の中小企業が会員となり、業界の地位向上等の活動に取り組んでいます。

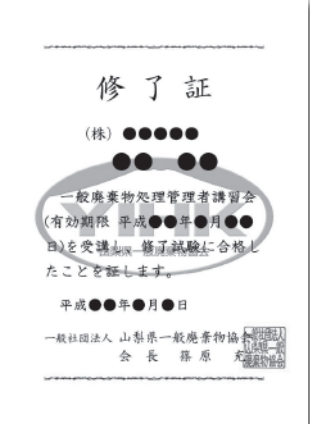
業界全体の景況感と雇用状況はいかがですか？

近年、廃棄物収集運搬事業の売上高は減少傾向にあります。「ゴミは景気のパロメーター」とも言え、時に廃棄物の排出量から景況感を感じ取ることもあります。政権交代などにより景気が回復傾向にあるとの報道もありますが、山梨県全体の景気はまだ厳しい状況にあるように感じます。また、本業界は、小規模で仕事量が安定しない事業者が多くいるため、新規雇用については非常に難しい状況となっています。

業界全体で取り組んでいることはありますか？

本協会では、会員の資質向上を目的とした講習会を定期的に開催し、一定の基準を満たした受講者に修了証を発行しております。昨年度までに、管理者向け講習会の受講者96人(57社)に修了証を発行しており、将来的には県内全ての一般廃棄物収集運搬事業者の管理者が講習会を受講し、この修了証が山梨県統一の資格証としての意味を持つものにしていきたいと考えています。

また、官公需適格組合制度の推進も行っていきたいと考えています。本協会には県内各地域で家庭ごみの収集運搬や環境美化活動を行っている協同組合と協業組合が10組合加入しております。今後は、各会員組合の適格組合証明活動を推進し、各組合の信用力の向上等に取り組んでいきたいと考えています。



一定の基準を満たした受講者には、修了証を発行しています

暑中お見舞い 申し上げます



平素は本会の事業運営に、ご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

去る6月3日に開催されました第58回通常総会においては、ご多忙の中、多数の会員の皆様にご参加をいただき、皆様のご協力を得る中で議案審議全てにおいて、滞りなく可決・承認されましたこと心より感謝申し上げます。

加えて本年度は役員改選が行われましたが、新執行部体制のもと私も皆様とともに、中小企業支援のための諸事業を積極的に展開し、中央会が、会員をはじめ中小企業の皆様から信頼され、頼られる支援機関となりますよう全力を傾注する所存であります。

新年度がスタートし、中央会では組合をはじめとした中小企業の連携組織を支援する事業に加えて、ものづくり中小企業の技術力強化のための試作開発事業に対する支援や6次産業化・農商工連携支援など新たな分野との連携強化、さらには県内中小企業の人材確保と雇用安定を図るための労働対策の充実のための事業など、業種・業界の枠にとられない、様々な中小企業支援を積極的に実施しております。

中小企業の連携組織である組合は、組合員企業の発展に資するための重要な役割を担っております。組織活動の原点に立ち帰って、厳しい経済環境に立ち向かう組合員企業の経営支援を行うための組合活動や事業展開について、中央会として全力を挙げて支援していく所存です。

会員の皆様方におかれましても、「不易流行」の行動テーマのもと組合の存在意義と目的を再認識され、積極的な事業展開により、組合及び組合員企業がこの困難な時代を乗り切っていくための先陣を切って行かれることをご期待申し上げます。

暑さ厳しい折ですが、健康にご留意され、ますますのご活躍を祈念申し上げます。

山梨県中小企業団体中央会

会長 内藤 悦次

山梨県中小企業労務改善団体連合会

◆平成25年度

通常総会の開催



あいさつをする
大宮山会長

7月17日（水）山梨県中小企業労務改善団体連合会（大宮山磐会長）は、国際交流センター「大研修室」において、平成25年度通常総会を開催した。

同連合会は、労務改善事業の推進と会員が行う事業の健全な発展と、労働者の経済的、社会的地位の向上を図ることを目的に設立され、各種セミナー・講演会、表彰式典の開催やアドバイザーによる労働相談業務等を実施している。

本総会では、24年度の決算関係書類の承認及び25年度の事業計画等が検討され、専門家による労働相談・労働関連の各種講演会、「活力ある職場づくり推進運動山梨県大会」を開催することに加え、中央会が今年度より実施している「地域中小企業人材確保・定着支援事業」と連携し、既存従業員との職場定着を促進するための研修会の開催、県内大学生等に対して地域中小企業の実態等を伝えるための交流会等についても積極的に取り組むこととなった。

また、任期満了による役員改選が行われ、次のとおり新役員が決定した。

総会終了後には、「アベノミクス下における中小企業の成長戦略」をテーマに、前川瑞穂氏（日本銀行甲府支店支店長）より講演が行われた。講演で前川氏は、アベノミクスの概要や山梨県経済への影響について事例などを交えて説明した。また、全ての業種に言えることではないが、全体的には山梨県経済に良い影響を与える」と語った。

講演終了後の質疑応答では、直近の経済政策や経済情勢についての質問が相次ぎ、国の経済政策全般についての関心の高さが伺われた。



前川氏による講演

山梨県中小企業労務改善団体連合会 新役員名簿

役職	氏名	所属団体／会社名及び組合名
会長	大宮山 磐	山梨県中小企業労務改善協議会
副会長	松吉 寛治	富士食品工業 株式会社
副会長	青沼 博	甲州市中小企業労務改善協議会
理事	古屋 安清	株式会社 昭和ドレス塩山研究所
理事	杉浦 正	市川三郷中小企業労務改善協議会
理事	齊木 重夫	株式会社 丸富
理事	小林 賢二	国母工業団地労務改善協議会
理事	村松 光比古	山梨県自動車整備労務改善協議会
監事		山梨県トラックターミナル労務改善協議会
		協同組合山梨県流通センター

女性部会及び全国レディース中央会の 通常総会開催



講演会の様子



あいさつする深澤会長

総会終了後には、山梨学院大学食物栄養科教授の田草川憲男氏を招いて、「生活習慣病予防のための望ましい食生活」をテーマに講演を行い、参加者は熱心に聞き入っていた。

組合女性部への研修支援等が決定された。

中央会女性部会は、7月8日甲府市飯田「中央会研修室」において平成25年度の通常総会を開催した。

7月5日には、全国レディース中央会の平成25年度通常総会等が東京で開催され、平成24年度の事業報告及び平成25年度事業計画が承認決定された。特に、10月23・24日鳥取県で開催される「全国レディース中央会フォーラム2013 in 鳥取県」について、鳥取県中央会女性部の衣笠会長から大会要綱について詳細説明があり、全国からの参加について強く呼びかけられた。

また、役員改選が行われ本県深澤紗世子会長が、副会長に再任された。



全国レディース中央会総会の様子

富士の国山梨で、 確認しよう印刷の底力。

～ 関東甲信越静地区印刷協議会 年次大会を開催 ～

ACTIVE KUMIAI

山梨県印刷工業組合



主管として挨拶を述べる
佐野理事長

関東甲信越静地区印刷協議会（日暮秀一会長）は去る7月5日、6日の2日間、本県において「第61回 年次大会」を開催した。今大会のテーマは「富士の国山梨で、確認しよう印刷の底力」とし、主管を山梨県印刷工業組合（佐野龍一理事長）が務めた。

当協議会は、関東甲信越静10県の印刷工業組合にて構成されている。年次大会は、各県の理事長で構成される「理事長会」、印刷業界の各分野（経営革新・マーケティング・環境・労務・組織活性・教育・研修・CSR推進、官公需対策）のテーマについて話し合われる「分科会」、理事長会及び分科会にて取りまとめた内容について報告を行う「全体会議」で構成されており、業界の現状や課題等の共通認識を持ち、それら課題に取り組んでいくことを目的としている。

今大会では、印刷物の減少や急速なIT化により業態変化が進む中、印刷業界が生き残っていくためには、各企業が「ソリューション・プロバイダー」（顧客の課題を発見し、印刷と関連メディアを駆使して解決策を提供すること）としての役目を発揮していくことが必要である旨の意見が出された。また、仕事量の減少等による価格競争の激化により廃業等が進む中、CSRを通じて中小企業の経営品質の改善が急務であるため、上部団体である全日本印刷工業組合連合会のCSR認定制度を積極的に活用し、企業のCSR向上を図っていく旨が確認された。

年次大会ではこの他、記念式典、懇親会等が行われ、本会内藤会長も出席した懇親会では、同協議会を構成する各県の印刷組合が各県の状況など、情報交換を活発に行っていた。



懇親会での様子

山梨県砂利組合連合会主催 『労働災害防止研修会』開催！

ACTIVE KUMIAI

山梨県砂利組合連合会

県内の4協同組合（山梨県砂利協同組合、身延砂利協同組合、早川砂利協同組合、富士川中流砂利協同組合）で組織される『山梨県砂利組合連合会』（井上聡一郎会長）は、去る6月29日（土）、甲府市宝のNOSAI会館内研修室において『労働災害防止研修会』を開催した。



あいさつを述べる井上会長

この研修会は、7月の『全国安全週間』に先立って毎年行われており、今年も連合会組合員の砂利採取業者ら50名の参加の下、講師に労働安全コンサルタントの功刀能文氏を招いて行われた。

井上会長は、冒頭のあいさつの中で、社会における当業界の有意性を確認するなかで、「（一社）日本砂利協会全国大会で掲げられたスローガンの一つである『地域社会への貢献と労働災害の撲滅』を実践するために、毎日の朝礼やミーティングなどを通じて日ごろから安全への意識を高めるよう訴えた。

研修会では、「山梨第12次労働災害防止計画」の説明をはじめ、過去に起きたさまざまな労働事故の事例に加え、最近起きた事故の特異性、些細なことに潜む危険性などの説明と、安全衛生活動の継続の重要性が述べられた。また、近年十分な対策がとられていない『熱中症』に対しても注意喚起とその予防策について詳しい説明がなされた。



講習を聴く参加者

参加者からは、「日ごろから安全については意識しているつもりだが、あらためてさまざまな事例と詳しい解説を聞くと、見落としがちな部分に気づかされ、もう一度安全について見直すよい機会となった。」という声がかれ、井上会長は「日々安全で明るい職場が保たれるよう、意識の高揚を図るためにも今後もこの研修会を続けていく」と語った。

これからのおもてなしのあり方とは？ ～ 下部温泉誘客おもてなし活性化セミナーを開催 ～

ACTIVE KUMIAI

下部旅館振興協同組合・下部観光協会



講師：すごはん代表 増澤美沙緒氏

下部旅館振興協同組合・下部観光協会は7月12日、甲斐黄金村・湯之奥金山博物館会議室において、講師・すごはん代表増澤美沙緒氏（販促シナリオライター）を招き、おもてなしセミナーを開催した。

このセミナーは、年に3回開催するもので第1回目は「おもてなしって何？これからのおもてなしのあり方」と題し、増澤講師より講演が行われた。増澤講師は、『これまでのおもてなしセミナーは、〇〇ホテルでこうやったら成功した』とか「相手の気持ちになったサービスをする」といった話が多かった。それはそれで参考になることは多いと思うが、下部温泉という小さな旅館や商店が集まった温泉街で行うおもてなしセミナーは、もっと二軒一軒の旅館や商店に寄り添って、実践的で結果が出るものになりたい。」と述べ、その後、参加者はグループに分かれ「おもてなしって何？・おもてなしの目的とは何か？」について真剣に議論した。増澤講師は、「重要なのは目的。何のためにおもてなしするのか？その目的がわかれば、おもてなしの大切さもわかる。『お客様に「最高」と思ってもらいたくてもいいけれど、それがおもてなしの目的。そのために、①楽しくなければ続かない、②好きでなければ続かない、③続けられなければ続かない、だから続けるためには自分が楽しめること、好きなこと、続けられることが大切である。』と述べた。セミナーに参加した組合員からは、多くのことに気づくことができた。また、わかりやすく、楽しみながら実践できたとの声が多く大変好評であった。次回、第2回目は8月8日に開催する予定。



グループ討議の様子

大学生を対象とした 職業意識啓発セミナー



講師の長谷川氏

7月17日（水）山梨県中小企業団体中央会は、今年度より実施している地域中小企業人材確保・定着支援事業（以下地域人材確保事業）の一環として、大月短期大学と連携し、職業意識啓発セミナーを開催した。

と知名度が低く、労働条件を高く設定することが難しい中小企業の魅力や働きがい等を県内大学生に広く伝え、就職に結びつけることを目的としている。

本セミナーでは、県内中小企業の実態を、より深く学生に伝える事を目的に「中小企業と仕事」をテーマとして長谷川正一郎氏（長谷川醸造㈱代表取締役）を講師に招き、大学構内に大月短期大学生55名を集めて開催された。

講演で長谷川氏は、自らが社長に就任した経緯や会社の特色等に加え、中小企業の強みについて説明した。長谷川氏によると、中小企業の強みとは、地域に根付いた小回りがきいた事業を行っている事であり、これにより結果として地域に求められる企業になっている。

また、学生に対するアドバイスとして就職先を選定するポイントについて

でも説明し、経営者が求める人材は「指示した内容を理解し、正しく応えられるコミュニケーション能力があること」、逆に求職者には「自分にあった仕事はなかなか見つからないので、どんな仕事でも続けようとする覚悟を決めて仕事を楽しむこと、好きになる努力が必要」と語った。



55名の大月短大学生が参加

学生企業レポート 第5回

経営者に 聞きました！

このコーナーは、学生が県内企業の経営者を訪問し、企業の経営実態や求めている人材等について直接聞き取ることで、学生と企業の相互理解を促進し、雇用のミスマッチ等を解消することを目的としております。第5回目となる今回は、山梨学院大学法学部 法学科 1年 佐野一樹さんが、株式会社テンヨ武田の代表取締役会長 武田與光 氏 を取材しました。



学生

山梨学院大学
法学部 法学科

1年 佐野 一樹 さん

時代の変化に 対応する企業とは

経営者

株式会社 テンヨ武田
代表取締役会長
武田 與光 氏



▶ 学生

会社の経営理念は？

▶ 経営者

創業141年という社歴を振り返ると、創業当時は明治時代初期、当然電気などはなく書き物も毛筆で鉛筆もなく、すべて手作業で便利なことは何もない時代であった。時代は変わり、昭和になると戦争に突入し、すべてが焼けてしまひまた何もなくなくなった。それからここ50年ぐらいの間に高度経済成長期を経て、バブル経済になって物が溢れる時代になると企業間の競争が激しくなり、社業も苦しい時代があった。しかし、そんな中でも141年社業が発展を続けて来られたのは、その時その時に、世の中に役立ってきたからだ。時代が変化していくにつれ、自分たちも変化を続けなければいけない。『不易流行』という言葉がある。いつまでも変化しないで変えてはいけないものの中にも、あたらしく変化を重ねるものも取り入れなくてはいけないこともあるということを常に考えてきた。

もう一つは、人が嫌がるような仕事を絶対にしないことだ。コンプライアンスはもちろんのこと、たとえ合法だったとしても人が眉をひそめるようなことはしないことを実行してきた。

▶ 学生

今の学生に足りないもの、必要となる力とは何か？

▶ 経営者

今の学生は保守的になってしまった。若いからといって最先端の知識を持っているという固定概念があるのも問題だ。私的な考えだが、若い人たちはどこかで一度挫折し

て、苦労したほうが良い気がする。ゆとり教育世代、また核家族化により兄弟が少ない子供たちは、特に客観性や競争力が失われてしまっているような気がする。社会の中で最も必要となるのは“競争心”だと思う。ガッツのある若い人が社会では活躍できるはずだ。

▶ 学生

県内で事業を行うメリットは何か？

▶ 経営者

県外で勤務した経験も少なく、県外のことについてはそれほどわからないが、例えば東京に進出するとすると人々の信用を勝ち取るのにかなり苦労すると思う。その点、山梨県は東京に比べて元々の繋がりがあって、人々はそれなりに評価をしていただけるというメリットがある。それが今の信用・信頼につながっている。

▶ 学生

学生時代に力を入れたことは何か？

▶ 経営者

中学生までは科学者になりたかった。人が知らない

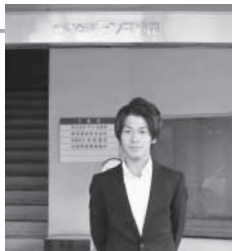
未知なことをやってみてみたかったからだ。経営を意識したのは高校時代から。その頃から本をよく読んでいた。今でも継続して本は読むが1年間で100冊位は読むだろうか。ただ、学生時代の読書はあまり楽しくなかったように感じる。学生時代は本を読んでみると本能的にテスト勉強をするように、つい赤ペンやマーカーなどで重要な箇所を覚えなければとすると楽しくないかもしれないが、学生時代が過ぎ、試験が無くなった途端に本を読むことが楽しくて仕方がなかった。今では3冊同時読みなんてこともしている。推理小説が好きなのだがつい夢中になりすぎて眠れなくなってしまうことがあるので、眠くなるように哲学書など難しい本を読んだりもしている。

まとめ

私は今回のインタビューを通じて、企業は時代の変化とともに柔軟に対応していかなければいけないことを知った。『不易流行』という考え方が今の企業に必要であり大切なことであると思う。また、競争力や客観的に物事を見る力というものも、今の企業が求めているものなのであろう。そういった力をつけるためには、日常生活から意識していかなければいけないと感じた。

取材を終えて…

初の男性レポーターということで最初は緊張してしまいましたが、武田会長はとても話し易く明るい方でしたので、終始和やかで良い雰囲気の中でお話を伺うことができました。今回のレポートの中で出てきた『不易流行』という言葉がテンヨ武田が141年続いてきた秘訣なのだと感じました。また、私たち学生は、時代の変化、企業の変化というものをいち早く察知して、職業選択に臨むべきだと思いました。私はまだ大学に入学して間もないですが、この時期から貴重な経験をさせていただき幸いに思います。今回の企業レポートに関わって下さった皆さんに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



つながる絆、ひろがる未来
組合・企業・個人
Mother Lake
65th
中小企業団体全国大会

第65回
中小企業団体全国大会

～つながる絆、ひろがる未来～

組合 絆 ルネサンス

日時 平成25年10月24日(木) 12:30～15:40
場所 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
主催 全国中小企業団体中央会／滋賀県中小企業団体中央会

企業間の
人材マッチングを
支援しています。

経済・産業団体、ハローワーク等と連携し、
全国ネットを通じて、人材の確保、
従業員の再就職支援に
努めています。

全国ネットの人材情報
企業間の出向・移籍のお手伝いを47都道府県の事務所でしています。

確かな実績と信頼	幅広いデータベース	相談等の費用は無料
昭和52年に経済・産業 団体と国の協力で設立さ れた公益財団法人です。	ハローワークや経済団体 などと連携し豊富な人材 情報を提供しています。	情報の提供、相談、あっせ んについての費用はかか りません。

インターネットで最新の人材情報をどうぞ
http://www.sangyokoyo.or.jp/ 産業雇用 検索

出向・移籍の専門機関／ご利用時間 9:00～17:00(土日祝は休業)

公益財団法人 産業雇用安定センター

明日を、かなえる。

みんなのために、ひとりのために

しんきん
バンク
Face to Face

甲府信用金庫
(055-222-0231)

山梨信用金庫
(055-235-0311)

しんきんキャッシュカードなら、全国のしんきんATMで、
平日・土曜のご利用手数料が無料で、ご利用できます。
(一部対象外のATMがございます。)

平成25年度 障害者雇用支援運動

山梨県では、障害者の雇用の促進と安定を図るため、障害のある方自身の意欲の喚起と、県民の皆様、とりわけ事業主の方の関心と理解を一層深めていただくことを目的として、障害者雇用支援運動を実施します。

期間 平成25年9月1日(日)～10月31日(木)
(9月は、国の「障害者雇用支援月間」です)

主催 山梨県、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 山梨障害者職業センター
後援 山梨労働局・公共職業安定所

主な実施事業

- 平成25年度障害者雇用優良事業所等表彰式
 - ・開催日：9月11日(水) 午後2時30分～
 - ・会 場：山梨県立図書館(甲府市北口2-8-1)
 - ・内 容：障害者雇用優良事業所、優秀勤労障害者等表彰
- 山梨県障害者技能競技大会
 - ・開催日：10月6日(日) 午前9時00分～
 - ・会 場：山梨職業訓練支援センター(ポリテクセンター山梨)
(甲府市中小河原町403-1)
 - ・内 容：職業技能競技7職種(ワード・プロセッサほか)
生活余暇技能競技1職種(凾製作)
 - ・申込締切：9月2日(月)
 - ※参加人数・参加資格等詳細はお問い合わせください。
- 障害者雇用啓発キャンペーン
障害者雇用を促進するための啓発キャンペーンとして、JR甲府駅頭キャンペーンや県下市町村巡回キャンペーンを実施します。



問い合わせ先 県産業人材課 ☎055-223-1566

情報 BOX

「平成25年度中小企業者に関する国等の契約の方針」 が閣議決定されました。

6月25日、「平成25年度中小企業者に関する国等の契約の方針」が閣議決定されました。
「国等の契約の方針」は、中小企業・小規模事業者の受注の機会の増大を図るため、官公需法(官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律)に基づき、毎年度閣議決定しているものです。
平成25年度における国等の契約の方針において新たに講じられた主な措置は以下のとおり。

1. 中小企業・小規模事業者の受注機会の増大のため新たに講じる主な措置

- (1) 原材料価格等の上昇により影響を受ける中小企業・小規模事業者への配慮
 - 燃料や原材料等の市況価格の変動が激しい商品等についての発注における配慮
 - ① 最新の実勢価格や需給の状況等を考慮して予定価格を作成するよう努める。
 - ② 商品等を種類ごとに分離又は契約期間を一定期間ごとに分割するなど、分離・分割発注するよう努める。
- (2) 官公需における物件等の価値の適正な評価への配慮
 - 調達対象の物件等の価値を適切に評価することにより、中小企業・小規模事業者による受注機会の確保を図る。
 - ① 価格以外の品質や機能を評価する入札制度である「総合評価落札方式」の適切な活用
 - ② 品質・機能の水準等を明確にする発注仕様書の作成
 - ③ 価格以外の要素の適切な評価

2. 中小企業・小規模事業者向け契約目標

平成25年度における国等の中小企業・小規模事業者向け契約目標金額：4兆1,902億円(目標率56.6%)
(参考:平成24年度の契約実績)
中小企業・小規模事業者向け契約実績額 3兆8,067億円(契約比率:53.5%)

検定試験を受けて組合士になろう！

平成25年度 中小企業組合検定試験

12月1日（日）



1 組合士 組合の明日を拓く
組合士

- 受験資格 特になし（ただし、組合士として認定されるには組合等での実務経験が必要です。）
- 試験科目 ●組合会計 ●組合制度 ●組合運営
- 試験日 平成25年12月1日（日）
- 試験地 札幌、青森、仙台、秋田、郡山、さいたま、東京、長野、静岡、名古屋、大阪、松江、岡山、広島、山口、高松、福岡、長崎、大分、宮崎、那覇
- 願書受付期間 平成25年9月2日（月）～10月15日（火）
- 受験料 5,000円（一部科目免除者は3,000円）
- その他 お申し込み方法など詳しいことは、最寄りの都道府県中小企業団体中央会にお問い合わせ下さい。
- お問い合わせ先 都道府県中小企業団体中央会
全国中小企業団体中央会
TEL.03-3523-4905 <http://www.chuokai.or.jp>

主催／ 全国中小企業団体中央会 協力／都道府県中小企業団体中央会

第14回 センターでバザール

開催日時 平成25年9月7日（土）午前9時～午後4時

開催場所 協同組合山梨県流通センター（中央市流通団地）

開催内容

- ▶バザールコーナー…靴、スニーカー、食料品、日用雑貨、バッグ、傘、靴下、子供服等多数、アクセサリー通販のサン宝石も出店
- ▶飲食コーナー……やきそば、たこ焼き、やきとり、クレープ等
- ▶イベント……………●働く車大集合（パトカー、消防車、クレーン車等）
●中央市保育園マーチング
●大ピンゴ大会（豪華賞品多数）
●わなげ大会（予定）

▶約100店舗によるフリーマーケット



お問合せ 協同組合山梨県流通センター TEL055-273-4711

新理事を補充し、更なる事業活性化を

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会 通常総会を開催



通常総会の様子



あいさつをする菅原会長

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会（菅原五男会長）は、7月26日、中小企業会館において、「平成25年度通常総会」を開催した。来賓として山梨県中小企業団体中央会の内藤会長、新海専務理事が出席、内藤会長より「厳しい経済環境に立ち向かう中小企業者を支援する中央会と組合を根底で支える事務局の方々との連携・協力は必須、事務連絡協議会の活動も支援をさせていただきます。」と激励の言葉が述べられた。

総会では、昨年度の事業報告・収支決算、新年度の事業計画・収支予算案の審議のほか、理事2名の補充についても審議され、新理事として、山梨県自動車整備商工組合の斉木重夫専務理事、（一社）山梨県鉄構溶接協会の間邊誠専務理事が選任された。

今年度の新たな事業として、エネルギー問題に焦点をあて、ガス業界の将来の発展性・活用性について、又は富士山世界遺産の登録を背景に今後急激に変化すると考えられる物流・観光面などについて研究を行うための視察研修を予定、多くの参加・協力が呼びかけられた。

総会後には、会員同士の交流を図ることを目的とした「ティーパーティー」が行われ、新任理事から挨拶、新会員の自己紹介や会員組合等の事業内容や業界の現状についての意見交換が行われた。

菅原五男会長は、「当協議会で得られる「情報・知識」は、現実には組合事務局が必要とするものが多く、組合事務局同士の交流、意見交換で、さらなる組合活性化策のヒントが得られる。是非、多くの事務局役職員に参加してもらい、その成果を日頃の組合活動に活かして欲しい。」と会員増強のための呼びかけを行っている。協議会の加入・事業への参加などに関するお問い合わせは…山梨県中小企業団体中央会 組織課又は組合等担当指導員まで



祝辞を述べる内藤会長



絆と心を荷台にのせて
走れ！トラック 緑の道を

平成24年度標語最優秀作品

（一社）山梨県トラック協会 （公社）全日本トラック協会

Yamanashi Chuo Bank 山梨中銀

街並みづくり応援ローン

看板を新しくしたい！ シャッターを新しくしたい！

店舗の外装、内装にかかる設備資金ニーズにご利用いただけます。

クロスを張り替えたい！ テーブルを新しくしたい！

山梨中央銀行は、商店街や地域経済の活性化に関する取り組みを応援いたします。ぜひお気軽にご相談ください。

※上記の設備資金ニーズは一例です。本ローンのお使いみちにつきましてはお気軽にご相談ください。

ご利用いただける方	次のいずれかに該当する法人および個人事業主のみなさま 1. 1年以上、小売業または飲食・サービス業を営んでいる事業者の方 2. 小売業または飲食・サービス業を営んでいる事業者の方に、店舗等を賃貸している（または賃貸する予定である）物件所有者の方																	
お使いみち	以下に該当する設備資金にお使いいただけます。 1. 店舗等の看板、シャッター、外壁塗装等の外装費用 2. クロス張替え、床板張替え等の内装費用																	
ご融資金額	無担保扱い：500万円以内 有担保扱い：1,500万円以内																	
ご融資期間	10年以内（据置期間はございません）																	
ご融資利率	当行所定の変動金利を適用いたします。																	
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">期 間</th> <th colspan="2">利 率 (平成24年7月25日現在)</th> </tr> <tr> <th>有担保扱い</th> <th>無担保扱い</th> </tr> <tr> <td>1年以内</td> <td>1.300%</td> <td>2.000%</td> </tr> <tr> <td>1年超 3年以内</td> <td>1.800%</td> <td>2.500%</td> </tr> <tr> <td>3年超 5年以内</td> <td>1.900%</td> <td>2.600%</td> </tr> <tr> <td>5年超 10年以内</td> <td>2.100%</td> <td>2.800%</td> </tr> </table>	期 間	利 率 (平成24年7月25日現在)		有担保扱い	無担保扱い	1年以内	1.300%	2.000%	1年超 3年以内	1.800%	2.500%	3年超 5年以内	1.900%	2.600%	5年超 10年以内	2.100%	2.800%
期 間	利 率 (平成24年7月25日現在)																	
	有担保扱い	無担保扱い																
1年以内	1.300%	2.000%																
1年超 3年以内	1.800%	2.500%																
3年超 5年以内	1.900%	2.600%																
5年超 10年以内	2.100%	2.800%																
ご返済方法	元金均等返済																	
担保	個別にご相談させていただきます。																	
保証人	法人：代表者 個人：不要																	
保証料	信用保証協会をご利用の場合は、別途保証料が必要となります。																	

〇くわしくは山梨中央銀行の窓口またはフリーダイヤルへどうぞ。 <http://www.yamanashibank.co.jp/>
☎0120-201862（照会コード：9）
受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00
(ただし、祝日・12/31～1/3は除きます。)

平成24年7月25日現在

新採用職員紹介



嘱託職員
近藤 克氏

●ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業

編集後記

いよいよ夏本番といった日々がやってきました。節電と体調管理に心がけながら、計画的な夏季休暇で、心も体もリフレッシュしましょう。

暑さで体力も奪われがちなので、お気をつけください。

●ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで
TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp